



国際シンポジウム

グローバル化する思想・宗教の 重層的接触と人文学の可能性

Multilayered Intellectual and Religious Contacts in a Globalizing Context:
Prospects for the Humanities

2013年

9月21日(土)

13:30~18:00

9月22日(日)

9:00~16:00

京都大学

人文科学研究所本館1階

セミナー室

無料
予約不要
来聴歓迎

■ プログラム

9月21日(土)

13:30~13:40

▶趣旨説明

司会 奥山直司

(高野山大学文学部教授)

13:40~15:40

▶講演 陳 継東

(青山学院大学国際政治経済学部教授)

釈迦の原典を探す

—近代仏教学の形成と日中仏教者の交流

コメンテーター

奥山直司 (高野山大学文学部教授)

16:00~18:00

▶講演 ミシェル・モール

(ハワイ大学マノア校宗教学科准教授)

ユニテリアンと日本仏教の接触

—明治・大正時代に於ける普遍的真理の

摸索とその挫折より学べるもの

コメンテーター

吉永進一 (舞鶴工業高等専門学校准教授)

▶討論

9月22日(日)

9:00~10:45

▶講演 ランジャナ・ムコパディヤヤ

(デリー大学東アジア研究科准教授)

グローバル化の時代における

エンゲイジド・ブディズム (『社会参加仏教』)

コメンテーター

守屋友江 (阪南大学国際コミュニケーション学部教授)

▶討論

11:00~13:00

▶講演 山下博司

(東北大学大学院国際文化研究科教授)

グローバル化のなかのヒन्दウー教

コメンテーター

田中雅一 (京都大学人文科学研究所教授)

▶討論

14:00~16:00

▶講演 川橋範子

(名古屋工業大学大学院准教授)

『フェミニズム』と『仏教』の接触

—トランスナショナルな視線

コメンテーター

田中雅一 (京都大学人文科学研究所教授)

▶討論

▶まとめ

お問合せ | 京都大学人文科学研究所 総務掛 Tel. 075-753-6902

主催 | 京都大学人文科学研究所

ホームページ | <http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp> メールアドレス | annaizinbun@kyoto-u.ac.jp

国際シンポジウム

グローバル化する思想・宗教の重層的接触と人文学の可能性

Multilayered Intellectual and Religious Contacts in a Globalizing Context: Prospects for the Humanities

思想・宗教のグローバル化にはどのような特徴があるのか。

本シンポジウムでは、この問題を複数文化の重層的接触という観点でとらえ、

現代のみならず、過去150年程度のスパンでこれを考察する。

特に宗教を共通のテーマとし、仏教、ヒンドゥー教などの伝播や変容について論じてゆく。

グローバル化時代にふさわしい人間像を、複数宗教の接触過程や現代思想と伝統的思考との接触過程を通じて提示することによって、人文学の可能性を追究したい。

陳 継東

青山学院大学国際政治経済学部教授

「釈迦の原典を探す—近代仏教学の形成と日中仏教者の交流」

講演要旨 ● 近代仏教学の形成期、日中両国の仏教者は、西洋の仏教学の影響を受け、釈迦の原典を探すという動向において連携していた。この事実を掘り出し、その動機と目的の相違を明らかにする。



ランジャンナ・ムコパディヤヤー

デリー大学東アジア研究科准教授

「グローバル化の時代におけるエンゲイジド・ブディズム（「社会参加仏教」）」

講演要旨 ● エンゲイジド・ブディズムは、グローバル化が進行する中で、次第にその地域的・文化的特殊性を超えて、世界平和、人権、環境など普遍的な課題を標榜するトランスナショナルな運動に発展しつつある。その様相を検討する。



ミシェル・モール

ハワイ大学マノア校宗教学科准教授

「ユニテリアンと日本仏教の接触—明治・大正時代に於ける普遍的真理の摸索とその挫折より学べるもの」

講演要旨 ● アメリカン・ユニテリアン協会は1922年まで日本での活動を続けた。その時期の仏教との接触は協力、議論や衝突の様々な形を見せる。当時のグローバル化より学べるものは何か、普遍的真理の摸索がただの幻想だったのかを考える。



山下博司

東北大学大学院国際文化研究科教授

「グローバル化のなかのヒンドゥー教」

講演要旨 ● インド人の国外進出は、労働移民の時代から近年のIT技師の流出まで、多様なフェイズを経てきた。移民活動には宗教も随伴する。タミル系ヒンドゥー寺院の世界展開を軸に、「ヒンドゥー教の今」を考える。

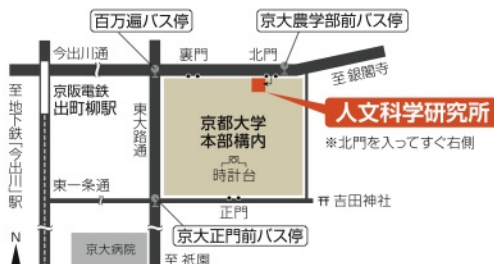


川橋範子

名古屋工業大学大学院准教授

「『フェミニズム』と『仏教』の接触—トランスナショナルな視線」

講演要旨 ● ジェンダーあるいはフェミニズムの視点と「女性の視点」は同義ではない。フェミニスト仏教が可能であるならばどのような形を取るのか、欧米やアジアの女性たちの取り組みを補助線に、想像を試みる。そのなかで、エンゲイジド・ブディズムからジェンダーの視点が欠落する理不尽さについても、述べてみたい。



●市バス 17、203系統「京大農学部前」下車徒歩1分 / 31、201、206系統「百万遍」下車東へ徒歩5分
●京阪電車「出町柳」下車東へ徒歩15分 京都大学 北門入ってすぐ右
*駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。